

# 「100円循環バス「くる梨」の運行状況について



(変更前)



(変更後)

## 1. 現状と課題について

・10月、11月の利用者数は、緑、赤が昨年度よりも下がっている。

10月分	赤	青	緑
R1.10	8,989	11,519	11,053
H30.10	11,755	9,936	12,598
差	△ 2,766	1,583	△ 1,545

11月分	赤	青	緑
R1.11	9,013	11,227	10,803
H30.11	11,743	9,839	12,592
差	△ 2,730	1,388	△ 1,789

## 2. バス事業者への聞き取りで出た意見

- コース全体→利用者が新しい路線に慣れていない。
- 赤コース→再編に伴い、赤コースで需要のあったバス停が青コースに変更された。
- 青コース→青コース自体の利用者は増加しているものの、青Aコース（富桑地区経由）の利用者が想定より少ない。
- 緑コース→従来はイオン鳥取店を経由するのが緑コースのみだったが、新路線は全コースが市役所前を経由するため、イオン利用者が分散した。  
→ダイヤ変更により、朝の出勤時間に間に合わない人が利用できなくなった。

## 3. 主な意見（苦情）

- ①再編により自分の行きたいところに行けなくなり、不便になった。
- ②乗り継ぎは高齢者にとって負担である。もとに戻してほしい。
- ③時刻表がわかりにくい。
- ④乗り継ぎしようと思うが、ダイヤが合っていない。
- ⑤以前の方が両方向にバス停があり、便利だった。（新品治等）
- ⑥青Bコースはいつ乗っても人がいっぱい、対してAコースは席に余裕がある。
- ⑦需要のある方の本数が少ないのはなぜ？
- ⑧相生町等、利用の多かったバス停が、これまで20分に1本通っていたのが40分に1本になり、不便になった。

## 4. 利用者の減少について考えられる要因

- ①新しい路線に慣れていない利用者が、くる梨を利用するのに不安がある。
- ②赤コースで需要のあったバス停が青Bコースに取り込まれ、赤コースの利用が減った。また、青Aコースが想定より利用が少ないため、全体としては減少幅の方が増加幅より大きい。
- ③緑コースの朝の2便目で特に影響が大きいですが、ダイヤの変更により、これまで利用していた人が時間が合わずに利用できなくなった。

## 5. 今後の対応策について

- ①現状の把握と分析を行い、利便性の高いダイヤ、ルート編成（乗降調査、聞き取りなど）
- ②乗り継ぎ案内の掲示の検討（バス停に主な行き先を掲示する等）
- ③利用促進を地元へ依頼
- ④売り上げが前年の約6倍となった1日乗車券のPR強化

利用者のみなさんがより安心して乗りやすいよう、ルート、ダイヤの調整を行うことで利便性の向上につなげます。（令和3年4月～）